本表ニハ二十二年ノ募兵者ニシテ本年ニ至リ入營シタル者ヲ加算シタルニ由ル

第三九二 徵兵徵集現役人員

明治二十三年

種類		水兵	火夫	總計	明治二十二年	同二十一年	同二十年	同十九年	同十八年
師管	第一	一三一	六五	一九六	四七	四二	七五	五〇	四三
	第二	一四八	七三	二二一	五五	四二	七五	五〇	四五
	第三	一二二	五六	一七八	四四	四二	七五	五〇	五〇
	第四	一一六	五七	一七三	四三	四二	七五	五〇	三七
	第五	一七六	八四	二六〇	六三	四一	七五	五〇	六九
	第六	一四三	七七	二二〇	五三	四一	七五	五〇	五六
合計		八三六	四一二	一、二四八	三〇五	二五〇	四五〇	三〇〇	三〇〇

明治二十三年ニ於テ徵集ノ數非常ニ多キハ新艦橋立ノ落成及ヒ横須賀、呉、佐世保、對馬ノ各水雷隊等ニ兵員ヲ要スルヿアレバナリ次表ノ募兵數多キモ亦其理由ニ因ル

第三九三 下士採用及募兵

明治二十三年

地方		下士	卒								
			水兵	軍樂生	水雷夫	火夫	木工	鍛冶	看病夫	厨夫	合計
本州中區	東京	―	六	二	―	五	―	二	一	―	一六
	神奈川	―	―	二	五	―	―	二	―	―	九
	千葉	―	―	―	三	―	―	―	―	―	三
	長野	一	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	靜岡	―	―	二	―	―	―	―	―	―	二
	愛知	―	三	一四	―	一	―	―	―	―	一八
	三重	―	八	二〇	―	一	―	二	―	―	三一
	福井	―	一	―	―	―	―	―	一	―	二
	富山	―	一	―	―	―	―	―	―	―	一
	計	一	一九	四〇	八	七	―	六	二	―	八二
本州北區	新潟	一	六	―	―	二	―	二	―	―	一〇
	福島	―	―	―	―	二	―	―	―	―	二
	宮城	―	五三	―	―	六〇	二	二	四	七	一二八
	岩手	―	一〇	―	―	―	―	―	―	―	一〇
	青森	―	八	―	―	二	―	―	―	―	一〇
	計	一	七七	―	―	六六	二	四	四	七	一六〇
本州西區	京都	一	七	―	―	二	三	―	二	―	一四
	大阪	一	一	―	―	二	―	―	二	二	七
	和歌山	―	二	―	―	―	―	―	―	―	二
	岡山	―	六	―	―	―	―	―	―	―	六
	廣島	一	一一	―	―	四	一	―	―	一	一七
	山口	―	五六	―	―	四	二	―	五	―	六七
	島根	―	二六	―	―	四	三	―	二	二	三七
	鳥取	―	一三	―	―	―	二	―	二	―	一七
	計	三	一二二	―	―	一六	一一	―	一三	五	一六七
四國區	徳島	―	五	―	―	二	―	―	―	―	七
	香川	―	三	―	―	一	―	―	―	一	五
	愛媛	―	一〇	―	―	一	五	―	四	一	二一
	計	―	一八	―	―	二	七	―	四	二	三三
九州區	長崎	―	一三	―	一〇	二	―	―	―	四	二九
	佐賀	一	一一	―	五	三	―	―	―	―	一九
	福岡	―	四	―	―	三	一	―	―	三	一一
	熊本	―	六	―	―	一	―	―	―	―	七
	大分	―	六	―	―	三	―	―	一	―	一〇
	宮崎	―	九	―	―	一	一	―	一	―	一二
	鹿兒島	一	四五	―	―	二二	四	一	―	五	七七
	計	二	九四	―	一五	三五	六	一	二	一二	一六五
總計		七	三三〇	四〇	二五	一三一	一九	一一	二五	二六	六〇七
明治二十二年		一一	一一三	一五	―	七三	六	九	一八	六七	三〇一
同二十一年		二八	一〇八	一五	―	四三	七	一五	一五	一八	二二一
同二十年		三三	五九八	一一	―	一四四	八	一六	一二	―	七八九
同十九年		四六	九二〇	三	―	二〇四	六	一八	三七	一三五	一、三二三
同十八年		七三	八八八	一六	―	四二五	三	―	五〇	九八	一、四八〇

本表下士ノ數ハ海軍部外ヨリ新タニ採用セシ者ノミニシテ卒ヨリ昇級セシ者ヲ載セズ故ニ其一年間ノ增員ハ現役下士增減表ニ就テ之ヲ觀ルベシ

第三九四 下士費用

明治二十三年